

「平成24年度 子ども震が関見学デー」の開催

総務課

「子ども震が関見学デー」は、子供たちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会を設け、各府省庁の施策に対する理解を深めてもらうことを主な目的として、毎年実施されており、平成24年度は8月8日（水）、9日（木）の2日間にわたって、開催されました。

消防庁では、中央合同庁舎第2号館1階アトリウム及び北側(警視庁側)駐車場に4つのチャレンジブースを設けました。「消防の仕事」を楽しみながら学び、身近に感じてもらうため、『チャレンジ・ザ・ファイヤーファイター～君はどれだけ消防士に近づけるかな?～』と題し、子どもたちにそれぞれの課題に挑戦してもらいました。

「消防写真館」では、ミニ消防服等を着て救助車（8日）、空中作業車（9日）の前でポーズをとる子どもや空中作業車の上に乗って記念撮影を行う子どもで賑わいました。

また、「防災グッズ、防災パネル展示コーナー」では、地震時の家具の転倒防止対策パネルや住宅用火災警報器の設置方法パネル等を展示しました。

この2日間で、消防庁及び総務省を訪れた子どもたちの数は604人（保護者も合わせると1,047人）で、「平

★チャレンジ・ザ・ファイヤーファイター
～君はどれだけ消防士に近づけるかな?～

☆チャレンジ①

地震にまけるな！（地震の揺れを体験しよう）

震度6強以上の揺れを体験できる起震車の中で、慌てず低い姿勢をとり、机やテーブルの下に素早く隠れることができるか。

☆チャレンジ②

煙の中を突き進め！（煙ハウスに入ってみよう）

煙ハウスの中での視界の悪さ、息苦しさの体験やハンカチ等で呼吸を確保し、煙の中を落ち着いて外に脱出できるか。

☆チャレンジ③

火事だ！火を消せ！（消火器を使ってみよう）

水消火器を使用し、消火器の使用手順を学び、体験するとともに、ホースを火元に向け、火元である的にきちんと放水ができるか。

☆チャレンジ④

ケガした人を救え！（応急たんかを作ってみよう）

身近なもの（毛布と棒）を使って、応急たんかを作成し、けが人をのせて持ち上げることができるか。

成24年度子ども震が関見学デー」は大盛況のうちに幕を閉じました。



チャレンジ①『地震にまけるな!』



チャレンジ②『煙の中を突き進め!』



チャレンジ③『火事だ!火を消せ!』



チャレンジ④『ケガした人を救え!』



消防写真館

